

大宮駅西口周辺の交通問題に関する研究の歩み

埼玉大学 建設工学科 設計計画研究室 T-OB ゼミ

埼玉大学設計計画研究室では、平成5年度以降、大宮駅西口の交通問題を研究テーマとして様々な角度から継続的に研究を行っています。

中でも、休日買い物交通の実態や商業施設の駐車場利用実態等、人や車の動きに関する調査研究は、交通工学の面からも、また地区交通計画を検討する実務レベルの面からも意義のある研究として、蓄積された多くの基礎データと共に実践的に活用されています。

これらの研究成果は国内外の学会で発表することで学術的な発展に貢献すると共に、より良い研究成果につながるように先輩から後輩へ代々受け継がれ、今日に至っています。

研究テーマ1；休日買い物交通挙動

- ・西口周辺の交差点交通量調査
- ・駐車場利用状況調査
- ・西口周辺アンケート調査

休日買物行動特性の把握
買物交通選択モデル構築

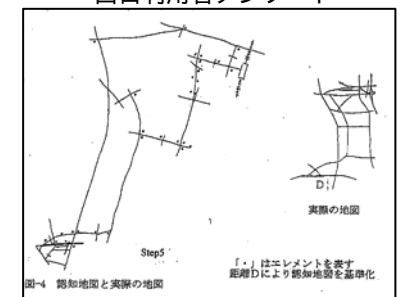


西口利用者アンケート

研究テーマ2；経路選択、認知地図

- ・西口駐車場までの実走行実験
- ・認知地図アンケート
(ネットワーク把握のしかた)

経験による経路認知メカニズム分析
経路選択行動モデルの構築



大学 西口の認知地図の記入例

研究テーマ3；交通シミュレーションシステム開発

- ・ビデオ撮影による車両挙動調査(単路・交差点)
- ・駐車待ち行列調査

研究室独自のシミュレーションシステムtiss-NET開発
・車両挙動(速度低下)モデル
・駐車場、交差点挙動モデル

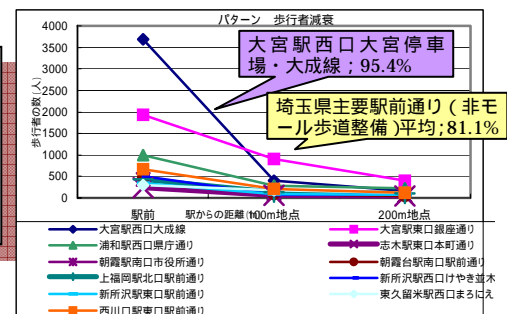


シミュレーション(駐車場待ち)

近年の研究；交通駅を中心とする交通まちづくり

- ・西口歩行者量調査

歩行数減衰率によるまちの賑わいの評価



駅からの距離による歩行者数減衰状況

大宮西口の交通問題解消にむけた研究

T-OB ゼミとは、「人が幸福になるための交通とはどうあるべきか」を議論している埼玉大学設計計画研究室のOB,OG 有志によるグループです。
(URL: <http://www.t-ob.jp>)